

青山学院大学大学院

年度	2026
研究科	文学
専攻	史学
課程	博士前期
入試種別	博士前期課程入試（秋）
試験科目	専門知識
科目詳細	日本史
解答区分（該当に○）	解答 ・ 解答例 ・ 評価基準 ・ 具体的な出題意図 ・ 解答のポイント ・ 略解

専門に関する論述試験となります。各時代からA問題（大問）・B問題（小問）を出題しています。解答者は、A問題を一つ、B問題を二つ選択して解答してもらいますが、B問題はA問題とは違う時代の問題を二つ選択しなければなりません。これは時代ごとの専門領域だけではない、日本史の幅広い基礎的知識と論述能力をみるためです。それぞれの課題についての正確な理解に加え、論理的な文章と誤字脱字の有無についても評価基準となります。A問題は1000字程度、B問題は一問につき200字程度を目安に解答することが望ましい。

I

A問題

『続日本紀』のなかの「神火」に関する記事について、読解するとともにその記事の意義について論述する問題です。内容を理解した上で、神火事件の歴史的意義について論じることが望ましい。

B問題

古代史における基本的事項四点の中から、二つを選択して、それぞれ200字程度で簡潔に論述する問題です。

- ①は、発行された時期やその歴史上の意義などについて触れていることが望ましい。
- ②は、正倉院宝物の概要や研究上における位置について触れていることが望ましい。
- ③は、その概要および歴史的意義について触れていることが望ましい。
- ④は、主として藤原純友の乱およびその意義について触れていることが望ましい。

II

A問題

中世史の基本史料である『看聞御記』（『看聞日記』）の中の、將軍暗殺に関する記事について、必要な語句を補いつつ、現代語訳させる問題です。歴史的対象の基本知識を有するとともに、主語一述語の対応など正確に読み解くことが望ましい。

B問題

中世史における基本的事項二点について、それぞれ200字程度で簡潔に論述する問題です。

- ①は、悪党について基本知識を問うとともに、大学レベルで知っておくべき重要学説などについて触れていることが望ましい。
- ②は、倭寇について基本知識を問うとともに、大学レベルで知っておくべき重要学説などについて触れていることが望ましい。

III

A問題

江戸時代に、海外の情報がどのように江戸幕府に伝えられたのかについて論述する問題です。長崎を通じて入手したオランダ風説書や唐風説書のほか、帰国した日本人漂流民からの聞き取りや輸入書籍など、多角的に論じていることが望ましい。

B問題

江戸時代の政治・経済・社会・外交に関する四つの事項の中から、二つを選択して、それぞれ200字程度で簡潔に論述する

問題です。

①は、百姓の年貢諸役負担や、領主の知行高・家格・軍役負担にいたるまで、石高を基準にその量を表示した、近世社会を編成する基本的概念であること、太閤検地によって全国的な統一基準が示され、徳川政権によって継承・整備されたこと、などについて触れて論じていることが望ましい。

②は、文化五年に発生したイギリス軍艦長崎不法侵入事件です。事件発生の背景や、経過、幕府に与えた影響などについて論じていることが望ましい。

③は、江戸幕府の天保改革の一環として発令された法令です。主導した人物、発令の目的、経過、結果、影響などについて触れて論じていることが望ましい。

④は、江戸幕府が、来航した外国船を穏便に退帆させるために燃料・飲料水の給与を認めた法令です。この法令について、19世紀初頭からの対外関係を踏まえた上で論じていることが望ましい。

IV

A問題

問題文に掲載した史料は、第五〇回帝国議会の衆議院本会議における加藤高明の演説の一部分です。掲載した史料からわかるように「衆議院議員選挙法改正法律案」（いわゆる普通選挙法）や貴族院改革の意義を演説しています。解答では、衆議院議員選挙法の改正の歴史を略述した上で、普通選挙法の内容やその影響などを記述すること、さらに貴族院改革の意義を記述することが望ましい。

B問題

日本近代史における基本的事項四点の中から、二つを選択して、それぞれ200字程度で簡潔に論述する問題です。

①は、発生の年月、事件の概要、外交および政治上の影響について触れていることが望ましい。

②は、運動の主体、運動の内容、その影響を受けて発生した事件について触れていることが望ましい。

③は、日韓併合に至る歴史過程の中の事件として、事件の発生年月や内容、その影響について触れていることが望ましい。

④は、幕末に起こったイギリスと薩摩藩との間で行なわれた戦争であるが、原因や結果、その後の影響について触れていることが望ましい。

V

A問題

平成5（1993）年に成立した細川護熙政権について、事実関係やその意義について論述する問題です。いかなる政党会派からなる連立政権であったか、主な政策課題、総辞職にいたる過程、戦後政治における意義などを記述することが望ましい。

B問題

日本現代史における基本的事項四点の中から、二つを選択して、それぞれ200字程度で簡潔に論述する問題です。

①は、いかなる人物なのか、戦後政治上における意義について触れていることが望ましい。

②は、組織の目的と歴史的背景について触れていることが望ましい。

③は、その概要および歴史的意義について触れていることが望ましい。

④は、その概要および歴史的意義について触れていることが望ましい。

青山学院大学大学院

年度	2026
研究科	文学
専攻	史学
課程	博士前期
入試種別	博士前期課程入試（春）
試験科目	専門知識
科目詳細	日本史
解答区分（該当に○）	解答 ・ 解答例 ・ 評価基準 ・ 具体的な出題意図 ・ 解答のポイント ・ 略解

専門に関する論述試験となります。各時代からA問題（大問）・B問題（小問）を出題しています。解答者は、A問題を一つ、B問題を二つ選択して解答してもらいますが、B問題はA問題とは違う時代の問題を二つ選択しなければなりません。これは時代ごとの専門領域だけではない、日本史の幅広い基礎的知識と論述能力をみるためです。それぞれの課題についての正確な理解に加え、論理的な文章と誤字脱字の有無についても評価基準となります。A問題は1000字程度、B問題は一問につき200字程度を目安に解答することが望ましい。

I

A問題

『続日本紀』のなかの藤原仲麻呂の紫微内相補任と養老律令施行に関する記事について、読解するとともにその記事の意義について論述する問題です。内容を理解した上で、仲麻呂政権や養老律令について論じることが望ましい。

B問題

古代史における基本的事項四点の中から、二つを選択して、それぞれ200字程度で簡潔に論述する問題です。

- ①は、律令制下における調庸賦課のための基本台帳であることに加え、その特徴や作成時期について触れていることが望ましい。現存例などについて触れてもよい。
- ②は、その活動時期や活動内容、歴史上の意義（僧侶であること、東大寺大仏造営への協力など）について触れていることが望ましい。
- ③は、蔵人所の長官であることに加え、その設置時期や定員、歴史的意義、在任者などについて触れていることが望ましい。
- ④は、藤原実資の日記であることやそのおおよその時期、歴史上あるいは研究上の意義などについて触れていることが望ましい。

II

A問題

中世史の基本史料である『看聞御記』（『看聞日記』）の中の、室町幕府―鎌倉府の対立に関する記事について、必要な語句を補いつつ、現代語訳させる問題です。歴史的事象の基本知識を有するとともに、主語―述語の対応など正確に読み解くことが望ましい。

B問題

中世史における基本的事項二点について、それぞれ200字程度で簡潔に論述する問題です。

- ①は、顕密仏教について基本知識を問うとともに、大学レベルで知っておくべき重要学説などについて触れていることが望ましい。
- ②は、中世日本紀について基本知識を問うとともに、大学レベルで知っておくべき重要学説などについて触れていることが望ましい。

III

A問題

江戸幕府の天保の改革について論じる問題です。背景については、国内的危機と対外的危機のそれぞれについて触れ、内容に

については、物価対策・農村改革・対外政策・社会政策などについて論じていることが望ましい。

B問題

江戸時代の政治・経済・社会・外交に関する四つの事項の中から、二つを選択して、それぞれ200字程度で簡潔に論述する問題です。

- ①は、年貢諸役の納入や、法令の遵守などを村の責任で請け負わせる近世の農民統治システムであることや、名主をはじめとする村役人の責任などについても触れていることが望ましい。
- ②は、水戸藩主徳川斉昭が天保九年戊戌の年に書き上げ、翌年将軍に提出した幕政改革意見書であることや、その内容についても触れていることが望ましい。
- ③は、江戸幕府が幕末期に編纂した近世の対外関係資料集であることや、その内容についても触れていることが望ましい。
- ④は、江戸幕府が文久の軍制改革の一環として発令した法令であることや、その意図や内容についても触れていることが望ましい。

IV

A問題

問題として掲載した史料は、明治一七年七月七日に宮内省達で公布された「華族令」です。掲載されている条文を参照しながら、明治期に創設された華族制度について、制度の整備に関わった人物、その特徴と政治的な意義を論じていることが望ましい。

B問題

日本近代史における基本的事項四点の中から、二つを選択して、それぞれ200字程度で簡潔に論述する問題です。

- ①は、教育機関としての特徴や目的、存在した期間などについて触れていることが望ましい。
- ②は、この政策の行われていた期間、その背景や内容、変遷などについて触れていることが望ましい。
- ③は、明治政府の政策としての位置づけ及び目的、設置された工場の例とその特徴などについて触れていることが望ましい。
- ④は、言論人、歴史家、評論家としての主要業績をあげて、その内容や影響などについて触れていることが望ましい。

V

A問題

昭和22（1947）年に成立した、いわゆる旧警察法について、事実関係やその影響について論述する問題です。法律の内容といかなる制度が実現したか、戦前との違いは何か、どのように改正されたか、戦後政治における意義などを記述することが望ましい。

B問題

日本現代史における基本的事項四点の中から、二つを選択して、それぞれ200字程度で簡潔に論述する問題です。

- ①は、いかなる人物なのか、戦後史上における意義について触れていることが望ましい。
- ②は、その概要および歴史的意義について触れていることが望ましい。
- ③は、組織の目的と歴史的背景について触れていることが望ましい。
- ④は、その概要および歴史的意義について触れていることが望ましい。

青山学院大学大学院

年度	2026
研究科	文学
専攻	史学
課程	博士前期
入試種別	博士前期課程入試（秋）
試験科目	専門知識
科目詳細	東洋史
解答区分（該当に○）	解答 ・ 解答例 ・ 評価基準 ・ 具体的な出題意図 ・ 解答のポイント ・ 略解

設問1 中国やアジア地域、イスラーム諸王朝の歴史に関する基礎的な語句（人名や地名などの事項、研究上重要な概念など）について、100~200字前後で論述することを求めている。年代や場所など必要な情報が具体的に示されていることが望ましい。

設問2 中国やアジア地域、イスラーム諸王朝の歴史に関わる課題について、1000~2000字前後で論述することを求めている。基礎的な文章力に加え、示された課題に関わる事実の全体像がバランスよく示されていること、出来事が具体的に記されていること、先行研究に適切に触れられていることなどが評価される。

青山学院大学大学院

年度	2026
研究科	文学
専攻	史学
課程	博士前期
入試種別	博士前期課程入試（春）
試験科目	専門知識
科目詳細	東洋史
解答区分（該当に○）	解答 ・ 解答例 ・ 評価基準 ・ 具体的な出題意図 ・ 解答のポイント ・ 略解

設問1 中国やアジア地域、イスラーム諸王朝の歴史に関する基礎的な語句（人名や地名などの事項、研究上重要な概念など）について、100~200字前後で論述することを求めている。年代や場所など必要な情報が具体的に示されていることが望ましい。

設問2 中国やアジア地域、イスラーム諸王朝の歴史に関わる課題について、1000~2000字前後で論述することを求めている。基礎的な文章力に加え、示された課題に関わる事実の全体像がバランスよく示されていること、出来事が具体的に記されていること、先行研究に適切に触れられていることなどが評価される。

青山学院大学大学院

年度	2026
研究科	文学
専攻	史学
課程	博士前期
入試種別	博士前期課程入試（秋）
試験科目	専門知識
科目詳細	西洋史
解答区分（該当に○）	解答 ・ 解答例 ・ 評価基準 ・ 具体的な出題意図 ・ 解答のポイント ・ 略解

I

選択した論題に関して、1000～2000字程度で論じることが求められる。評価に際しては、以下が重視される。

- ・ 適切な歴史事項が挙げられているか。
- ・ 歴史事項間の関係が適切に表現されているか。
- ・ 論理的に述べられているか。
- ・ 結論が論理的に適切であるか。

II

挙げられている歴史事項に関して、100～200字程度で、その内容を説明すること。

青山学院大学大学院

年度	2026
研究科	文学
専攻	史学
課程	博士前期
入試種別	博士前期課程入試（春）
試験科目	専門知識
科目詳細	西洋史
解答区分（該当に○）	解答 ・ 解答例 ・ 評価基準 ・ 具体的な出題意図 ・ 解答のポイント ・ 略解

I

選択した論題に関して、1000～2000字程度で論じることが求められる。評価に際しては、以下が重視される。

- ・ 適切な歴史事項が挙げられているか。
- ・ 歴史事項間の関係が適切に表現されているか。
- ・ 論理的に述べられているか。
- ・ 結論が論理的に適切であるか。

II

挙げられている歴史事項に関して、100～200字程度で、その内容を説明すること。

青山学院大学大学院

年度	2026
研究科	文学
専攻	史学
課程	博士前期
入試種別	博士前期課程入試（秋）
試験科目	専門知識
科目詳細	考古学
解答区分（該当に○）	解答 ・ 解答例 ・ 評価基準 ・ 具体的な出題意図 ・ 解答のポイント ・ 略解

I は、考古学に関わる課題、研究テーマおよび主要なトピックについて、4問中2問を選択し、それぞれ1000～2000字前後で論述することを求めている。評価項目としては、基礎的な文章力を備えていること、全体が論理的に記述されていること、基本的な事項や用語を正確に理解していること、具体的な年代観や考古学的事象が示されていること、適切な先行研究や調査成果が示されていることなどがあげられる。

II は、考古学に関する基礎的な語句（遺跡名、遺物および遺構名などの事項、研究上重要な概念、研究方法、学史上の人物など）について、10問中5問を選択し、それぞれ100～200字程度で論述することを求めている。特徴や年代観、地名など必要かつ具体的な情報が簡潔に示されていることが望ましい。

青山学院大学大学院

年度	2026
研究科	文学
専攻	史学
課程	博士前期
入試種別	博士前期課程入試（春）
試験科目	専門知識
科目詳細	考古学
解答区分（該当に○）	解答 ・ 解答例 ・ 評価基準 ・ 具体的な出題意図 ・ 解答のポイント ・ 略解

I は、考古学に関わる課題、研究テーマおよび主要なトピックについて、1000～2000字前後で論述することを求めている。評価項目としては、基礎的な文章力を備えていること、全体が論理的に記述されていること、基本的な事項や用語を正確に理解していること、具体的な年代観や考古学的事象が示されていること、適切な先行研究や調査成果が示されていることなどがあげられる。

II は、自分の研究テーマに関わる具体的な考古資料を1つ取り上げ、その考古学的課題について1000～2000字前後で論述することを求めている。評価項目としては、基礎的な文章力に加え、取り上げた考古資料についての基本的な事項を正確に理解し、具体的な情報が示されていること、取り上げた考古資料と示された課題を適切に結び付け、その全体像や歴史的背景を論理的に記述していること、先行研究や調査成果が適切に示されていることなどがあげられる。